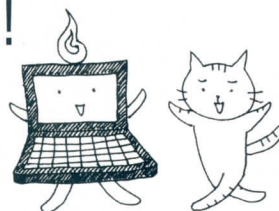




波多利朗の Funky Goods

◎DOS Ver.2.11上でも動く！

超「古」型パソコンに
ZIPドライブをつなぐ！



イラスト：Ree(スタジオ・ふ〜)

前回は、往年の名機 ATARI Portfolio に ZIPドライブを接続してみた。Iomega社の ZIP Drive には、当然だが DOS 上で使用するためのドライバソフトが付属してくる。ただ、このドライバソフトには、DOS のバージョンや CPU に制限がある。

現代のマシンを用いる上では、なんら問題とはならない。しかし、いまでもって Poqet PC や PC-3000 などの超古型マシンで遊んでいる廃人たちにとっては、非常に深刻(?)な問題となってくる。CPU や DOS のバージョンが古いため、標準 ZIP ドライブでは使用できないのだ。

そんな昔のマシンを使うほうが悪いと言ってしまう、ハイそれまでよ、なのだが、Stefan Kaechele 氏が開発した palmZIP というドライバを使用すれば、こうした古のマシンでも ZIP ドライブを

接続可能になる。

なんといっても palmZIP は、8086/8088CPU のパソコンで、DOS のバージョンが 2.11 以上であれば、動作させることができるという恐ろしいシロモノなのだから。

さらば愛しの Geofox One

今回の Funky Goods は、残念ながらお知らせから書かなくてはならないようだ。筆者がいつも拝見させていただいている永沢雄人氏の「謎ばー研究所」ホームページ (<http://www.geocities.co.jp/SiliconValley-PaloAlto/2960/>) の掲示板を見ていたら、Geofox 社が倒産し整理を待つ身であるとの書き込みを発見した(画面 1)。関連す

るニュースは、Psion のニュースを提供している 5Alive のホームページ上に掲載されている。URL は下記のとおりである。

<http://5alive.psionking.com/Archives/Nov04.htm>

「GEOFOX TO CEASE TRADING!」という見出しで書かれた記事は、なかなか残念な内容だ。Geofox One は、たしか 1997 年の Comdex Fall にて華々しい(?)デビューを飾り、小型マシン使いの廃人たちの話題をさらったものである。

本誌でも、98 年 1 月号上にてその詳細が掲載され、小生も「新たな謎ばー機」の出現? GEOFOX 社の PDA、Geofox One」というタイトルで紹介した覚えがある。

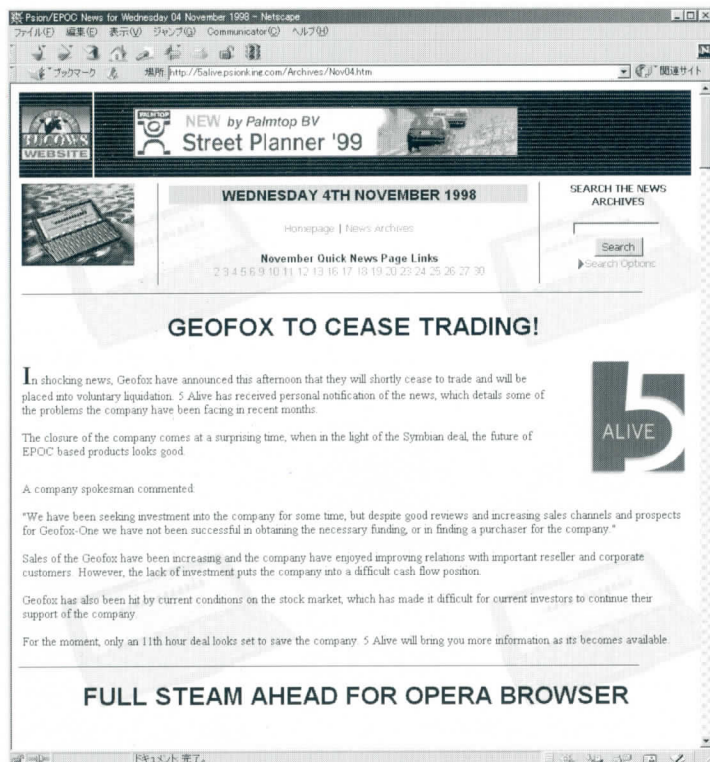
当時、暮れも押し迫った 97 年 12 月 21 日、廃人の友人連中のアキバオフ会のその当日に、T-ZONE アップル館地下 1 階のモバイル関連商品売り場にて、最後の 1 台をゲットしたことが、つい昨日のように思い浮かばれる。

Geofox One は、これで名実ともに真の「謎ばー機」になってしまったわけである。もともと生まれが怪しく超マイナーであったこともあり、「究極の謎ばー機」に昇華してしまったような気さえする(写真 1)。

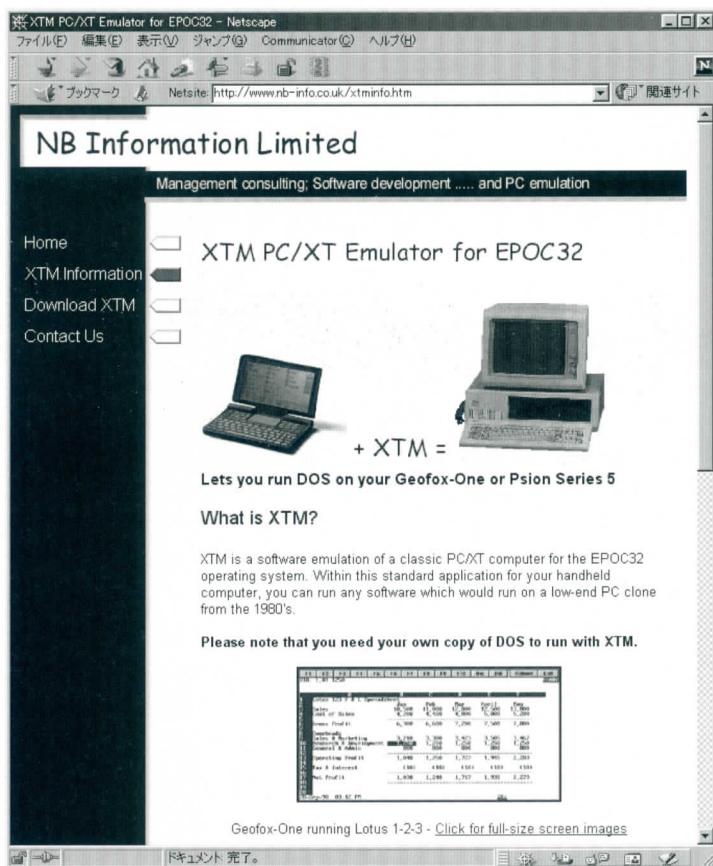


写真 1 名実ともに真の「謎ばー機」となってしまった GEOFOX One! 合掌……

画面 1
GEOFOX 社の倒産を告知する 5ALIVE 1998 年 11 月 4 日号の画面



画面 2
EPOC32 用 PC/XT
Emulator、XTM の
ホームページ画面



というわけで、久々にGEOFOX Oneを引っ張り出して遊んでみた。WEB 上では、EPOC32上でPC/XTをエミュレートするというXTM エミュレータが公開され(画面 2)、その日本語化もネットにアップされていた。

さっそくこのエミュレータを試してみた(写真 2)。GEOFOX OneにXTMを導入し、日本語FEPとして「刀」を組み込んだ後、Vzエディタを起動させてみた。動作はメチャクチャに遅いものの、問題なく日本語入力ができるのは、なんだか妙な

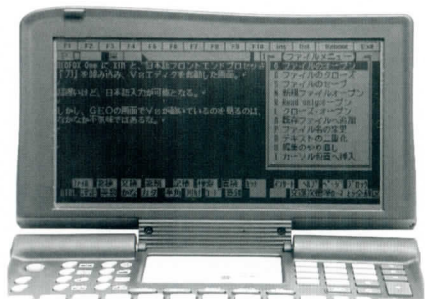


写真 2 XTM PC/XT Emulator for EPOC32をGEOFOX Oneに導入し、日本語FEPとして「刀」を組み込み、Vzエディタを起動させた画面

感じである。

ついでに、Psion Series5にもXTMを導入し、日本語FEPとしてEGBridgeを組み込んでみた(写真 3)。EGBridgeの起動キーの割り付けは、MadamFatal氏制作のREMAPEGPに、Psion Series5用パッチを当てたものを使用している。これを用いると、EGBridgeの起動をFn+Kに割り当てることが可能となる。

こちらも処理速度はかなり遅いが、Vzエディタで日本語を入力することができる。なお、XTM PC/XT Emulator for EPOC32のホームページURLは、下記の

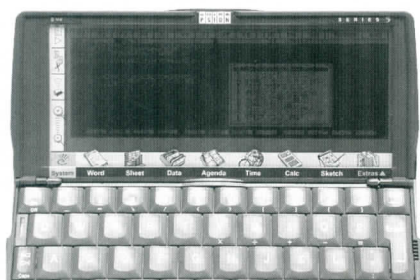


写真 3 XTM を Psion Series5 に導入し、日本語FEPとしてEGBridgeを組み込み、Vzエディタを起動させた画面



写真 4 Psion Series5とGEOFOX One。EPOC32搭載マシンの勇姿！

通りである(画面 2)。

<http://www.nb-info.co.uk/xtminfo.htm>

GEOFOXをお持ちの方(いったい日本人何人いるのだろうか?)は、トライされてみたらいかがであろうか。

小型マシンの世界がWindowsCE 一色になってしまうのも、なんとなく面白くないものだ。EPOC32 OSをはじめとする非Windows CE系のOSには、今後もがんばってもらいたいものである(写真 4)。

シリアルナンバー 0001 !
PalmZIP ユーザー 1 号?

というわけで、今回の本題に入ることにする。ATARI Portfolioのようなマシンでも ZIP ドライブが接続できるのなら、その他の超古型マシンでも接続してみたいかなというのが人情というものだ。

少なくとも、ドイツはテニンゲンに事務所を持つ Stefan Kaechele 氏はそう思われたようで、同氏のホームページ(下記)にはPoqet PCやPC-3000用ZIPドライバも紹介されているから立派なものだ。

<http://home.t-online.de/home/stefan.kaechele/>

Iomega社のZIP Driveに付属するDOS用ドライバソフトには、残念ながら次の



写真 5 ビニール袋の中にFDと、まるで同人ソフトのような雰囲気のパッケージ

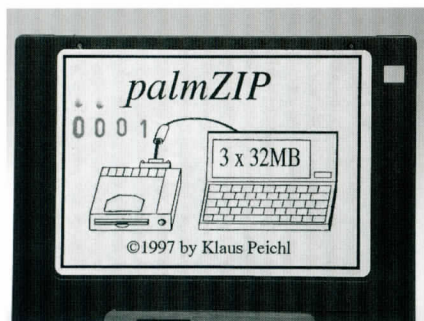


写真6 購入したpalmZIPのシリアル番号は、ナント0001!

ような制限事項がある。

- ・対応DOSのバージョンは4.0
- ・対応CPUは80286(V20/V30)以上

そこで、palmZIPの登場である。PoFo-ZIPと同じように購入でき、パッケージも同じように簡素なものとなっている(写真5)。

ビニール袋の中には、ドライバソフトを格納した3.5インチ2DDのフロッピーが1枚と、palmZIPの取扱説明書(英語版)、ZIPMANというZIPフォーマットソフトの取扱説明書(英語版)およびソフトウェアライセンス規約を記載したコピーが入っている。

ドライバソフトを格納したフロッピーのラベルには、PoFo-ZIPのようにライセンス番号が記載されているが、ナント「0001」(写真6)となっていた! これは、1番目のユーザーということを意味するのだろうか???

Poqet PCやPC3000にも対応 PalmZIP の概要

添付されてくるマニュアルによれば、palmZIPは次のマシンに対応している。

- ・Toshiba T1000、T1000SE
- ・Poqet Computer ... Poqet PC
- ・Bondwell B200
- ・SHARP PC3000
- ・ZEOS Pocket PC

これを見ると、あまりなじみのないマシンの名も見受けられる。やはり「謎ば〜機」の世界は奥が深い。とりあえずPoqet PCやPC3000に対応しているのはうれしい(って、こんなに古い機種に対応していて喜ぶヤツはあんまりいないと思うけど……)。

さて、palmZIPのフロッピーディスクには、表1のようなファイルが格納され

GERMAN	<DIR>	98-08-31	10:09	GERMAN	
ENGLISH	<DIR>	98-08-31	10:09	ENGLISH	
PALMZIP	SYS	2,828	98-08-17	1:10	PALMZIP.SYS
ZIPMAN	COM	2,046	98-07-20	1:30	ZIPMAN.COM
ZIPCOPY	COM	2,045	98-02-25	1:00	ZIPCOPY.COM
BI	COM	831	98-05-11	0:20	BI.COM

◎表1
palmZIPの格納ファイル

ている。

格納ファイルのうち、PALMZIP.SYSがドライバソフト本体、ZIPMAN.COMはZIPドライブのフォーマットソフトとなっている。またZIPCOPY.COMは、ZIPドライブ中のパーティションの中身を、そっくり別のパーティションにコピーするためのソフトだ。サブディレクトリの中には、英語とドイツ語の各マニュアルが格納されている。

超「古」型マシンPoqet PCで palmZIP を使ってみる

さっそくpalmZIPを使用してみることにする。今回は、超「古」型マシンの代表であるPoqet Computer社のPoqet PC(写真7)に接続してみよう。

① ZIPドライブの接続

ご存じのとおり、Poqet PCのI/Oポートは特殊仕様となっている。このポートに、Poqet PC純正オプションであるPoqet Parallel Port Cable(MODEL No.PQ-0572)を接続し(写真8)、さらにZIPドライブを接続する(写真9)。

② 必要ファイルのコピー

次に、Poqet PC本体に必要なとなるドライバソフトをコピーする。筆者のPoqet PCには、Aドライブに2MBのSRAM



写真7 一部の方には超おなじみのPoqet PC

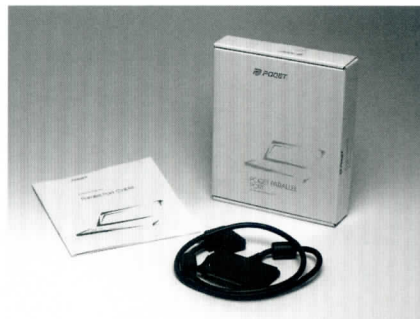


写真8 いまとなっては貴重なオプション製品の POQET Parallel Port Cable



写真9 超「古」型マシンPoqet PCに、ZIPドライブを接続する

Cardが搭載されているため、このカード上にZIPDRVというディレクトリを作成し、その中に次のファイルを転送した。

・PALMZIP	SYS	2,828	98-08-17	1:10
・ZIPMAN	COM	2,046	98-07-20	1:30
・ZIPCOPY	COM	2,045	98-02-25	1:00
・BI	COM	831	98-05-11	0:20

ファイルのコピーは、これで終了である。

③ ドライバソフトのインストール

Poqet PCは、Dドライブ上のconfig.sysとautoexec.batファイルを参照して起動する。したがって、ZIPドライブソフトはDドライブのconfig.sysファイルで登録すればよい。具体的には、config.sysファイルの先頭に、下記の内容を追記する。



```
device=a:\zipdrv\palmzip.sys /p1 /w0
device=a:\zipdrv\palmzip.sys /p2 /w0
device=a:\zipdrv\palmzip.sys /p3 /w0
```

筆者のPoqet PCで使用しているconfig.sysおよびautoexec.batファイルの内容を、表2に示す。DOS/C化を行っており、さらに日本語FEPとして「EGBridge」やら「鳳」を切り替えて使っているため、若干ゴチャゴチャしたものとなっている。

④マシンの再起動

ドライブソフトがインストールされたら、マシンを再起動させる。ZIPドライブを検出するメッセージが出力され、組み込みが終了する。

なお、Poqet PCはDOSのバージョンが古いため、100MBのZIPドライブを3分割して、1パーティション32MB×3パーティションとして認識させる。その

ため、Poqet PCでは、ZIPドライブはE、F、Gの3つのドライブとして認識されることになる。

この辺の事情は、ATARI Portfolioと同様である。ZIPドライブが認識されたら、添付のZIPMAN.COMを用いて各ドライブのフォーマットを行えば、使用できるようになる。

さて、chkdskコマンドで各ドライブを見てみると、以下のようになった。

```
33454080 bytes total disk space
      0 bytes in 1 hidden files
33454080 bytes available on disk
```

実際に使用してみると、DIRコマンドなどでZIPドライブ内に格納されているファイル一覧を表示させた場合、ファイルを表示してからコマンドプロンプトに戻るまで、若干の「待ち」が入る。まるで一昔前のSCSIドライブのようだとえ

え、わかる人にはわっていただけたと思う。

このpalmZIPは、Poqet PC以外の超古型マシンでも使用できる。その場合、ドライバを組み込む際のディレイパラメータの数値を変更することで対応している。Poqet PCの場合には、

```
device=a:\zipdrv\palmzip.sys /p1 /w0
```

のように/w0と記述したが、この値は使用するマシンのCPUスピードによって変更する。設定できる値としては0-9とA-Fが可能だが、マニュアルにはPoqet PCの場合は/w0、Toshiba T1000SEの場合は/w4が最適な値と書かれている。

最も威力を発揮する組み合わせ SHARP PC3000 + palmZIP

今回は、Poqet PCにZIPドライブをつないでみたが、やはりpalmZIPを使用したZIPドライブ接続で最も威力を発揮する組み合わせは、筆者個人が思うにSHARP PC3000で使用した場合だ。PC3000は液晶も見やすく、反転表示モードもあるため、ゲームには最適だったような内容の記事は、以前本誌にも書いた覚えがある。

ZIPドライブの中に、いにしえのCGAゲームをゴチャマンと格納しておき、PC3000でプレイするといった使い方は、なかなかオシャレだと思うのだが、いかがだろうか(写真10)。

さて、今回は「ATARI Portfolioを取り巻く怪しいグッズ達」と題して、いろいろギークな商品をご紹介します。また、「柴隠上人 稀瑠冥閻守(Kerberos)氏のPsionコレクション」と題して、氏が所有する17台にもおよぶEPOC OS系マシンのコレクションもご紹介する予定である。



写真10 ゲームマシンに最適！PC3000+ZIPドライブの組み合わせ

◎表2 筆者のPoqet PCで使用しているconfig.sysおよびautoexec.batファイルの内容

●筆者のPoqet PCのconfig.sys ファイル

```
files=20
buffers=20

device=a:\zipdrv\palmzip.sys /p1 /w0
device=a:\zipdrv\palmzip.sys /p2 /w0
device=a:\zipdrv\palmzip.sys /p3 /w0

shell=c:\command.com /e:1024 /p

device=a:\doscd\dbcsumy.sys
device=a:\doscd\fontman.exe -b5 -fa:\doscd\fontman.ini -d
device=a:\doscd\yadc.exe -jp
device=a:\doscd\pansi.sys /k

device=a:\bin\mnfer.sys

rem device=a:\bin\otri.sys /da:\otridic /i1 /kef920 /kbf820 /ka0020 /k5000f /k3fa20 /k20009 /k1000d

device=b:\egbdosv.sys /B
```

●筆者のPoqet PCのautoexec.bat ファイル

```
@echo off
prompt $p$g

:COMSPEC=C:\COMMAND.COM

path=a:;a:\bin;a:\doscd;a:\tools;a:\vz;B:\DMAIL\BIN;c:;b:\fax;a:\zipdrv;

set term=ansi
SET TMP=B:\TEMP
SET DMAIL=B:\DMAIL
SET WATTCP.CFG=B:\DMAIL\BIN

:OS$DT
:OS$DT/S

:VNA

:a:\tools\cga
:a:\tools\pmoff
a:
```